



# 輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之

## 「学級懇談会」中止の経緯 ～新型コロナウイルス感染症のリスクを考えて～

シルバーウィークはいかがでしたでしょうか。リフレッシュできたことを願うとともに、新型コロナウイルスの感染拡大がないことを願うばかりです。

さて、9/21付で「学級懇談会の中止について」という文書を出させていただきました。内容的には、タイトルの通り、9/28 9/29に予定されていた学級懇談会を中止するというものですが、もう少しその判断に至る経緯・思いについて説明させていただこうと思います。

学級懇談会は、教師と保護者が「子ども」を真ん中に据え、学校での様子や家庭での様子を共有し、悩みなどを話し合うことを通して、同一歩調で教育に当たれるようにするとともにお互いの信頼関係を構築していくきっかけを作るものです。お互いの人となりの一端を知ることも大きな役割の一つかもしれません。学校にとってとても大事な時間と考えています。（保護者の皆さんにとってもそうであってほしいと思っています。）通常なら年度当初に行うこととなりますが、今年度は新型コロナウイルス感染症クラスター発生の影響から開催できませんでした。担任にとっては保護者の皆さんと直接会って話すことでちょっと安心感みたいなものが出てきますし、保護者の皆さんにとっても大事な子どもを預けている担任の顔も分からないのは不安だろうと考え、なんとか開催できないものか、そして、できればできるだけ早い時期に開催できないものかと模索してまいりました。（7月の個別の授業参観実施もそんな意味がありました。）結局は9月末懇談会予定とすることにしました。

しかしながら、開催に当たってはなんと言っても新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視すること、子どもの命を守ることにってはぶれない対応が求められることになりました。今回、福島県では福島県全体での感染者増をうけ、3市にまん延防止等重点措置、重点措置以外の全区域に県の独自対策という対応がとられました。先週末、重点措置以外の区域（二本松市含む）に県の独自対策の終了が発表されましたが、新型コロナウイルス感染症の状況が大きく変化したわけではありません。

県の独自対策の終了に伴い、懇談会の開催について再度検討いたしました。

「県の独自対策が終わってるんだから 懇談会も開催できるのでは・・・」

「夕方からの開催にすれば 参加者が増えるのでは・・・」

「ちょっと時期をずらして 10月初旬にしたらどうか。保護者は休みがとりやすいのでは・・・」等開催を念頭に置いて考えました。

しかし、いつも心に引っかかってくるのは、「本当に大丈夫か」

「子どもの命を守れるか」ということでした。

今回の懇談会開催に当たっては、一番の懸案事項は「シルバーウィーク」でした。シルバーウィークでの人流、交流機会の増による感染リスクの増大です。懇談会はシルバーウィークのちょうど1週間後。現時点での判断で不安を払拭することはできませんでした。

また、今回学級懇談という集団での懇談は中止したとしても、担任との懇談を希望する場合はいつでも連絡帳等でお伝えいただければ懇談等は実施できること、時期が遅れることにはなりますが、10月末に「北っ子まつり」11月上旬に「授業参観」も予定し、保護者の皆さんと顔合わせの機会をとれることも中止にする理由となりました。

北小はクラスターを発生させていることもあり、学校は「次はない」「学校からクラスターは絶対に出さない」という強い決意をもってしています。どうぞ、学級懇談中止の経緯をご理解いただくとともに、これまで同様に新型コロナウイルス対応の徹底をお願いいたします。



- ◎ 登校前の検温、健康観察の徹底。37.0℃以上、体調不良の児童は出席を見合わせる事。
- ◎ 同居する家族に発熱等の症状が見られる場合は、児童の出席を見合わせる事。
- ◎ 児童及び同居者（同居に準ずる方を含む）に以下の状況が判明した場合はすぐに学校に連絡すること  
（平日日中…0243-23-0029）（休日夜間…080-2814-4808）
  - ・ PCR検査を受検する場合
  - ・ 濃厚接触者に特定された場合（またはその疑いがある場合）
  - ・ 陽性が確認された場合
- ◎ 集団登校時の間隔を開けた歩行、7時30分以降の学校への到着 等